



微量硫黄分析

各種材料中のppmレベルの硫黄を湿式分析により定量いたします。

各種材料中に含まれる不純物元素は、機能及び機械的性質を決める上で重要な役割を果たしています。硫黄は一般的には有害元素として知られており、多くの材料で低減化が望まれています。

当社では各種材料中の微量硫黄定量に関し、豊富な実績と特徴技術を保有しており精度のよい定量結果をご提供しております。

ppmレベルの高精度な硫黄分析

● 豊富な分析経験に裏打ちされた微量硫黄分析技術

鉄鋼試料の微量の硫黄分析は主として燃焼-赤外線吸収法が知られていますが、これに遜色のない化学湿式分析法として硫化水素気化分離メチレンブルー吸光光度法が挙げられます。この方法はJIS G 1215-3にも規定されている非常に感度のよい方法でppmレベルの分析で適用されます。感度がよい反面、使用する試薬中に含まれる硫黄や硫酸などの、硫黄を含む蒸気・粉塵等の影響を受けやすく、技術を要する分析方法です。

当社には微量分析に関して経験豊富な分析者が多数在籍しており、JIS法の適用範囲下限3 ppm以下の微領域についても、鉄鋼材料はもとより各種試料に対する高精度な分析を実現しています。

分析例（硫化水素気化分離メチレンブルー吸光光度法）

試料例

- 鉄鋼
- 酸化鉄
- 純銅
- 黄銅
- 銀粉末
- 金属マンガン
- セラミックス
(アルミナ等)



図 蒸留気化装置

分析結果の例

試料名	純銅	鉄鋼
<i>n</i>	(ppm)	(ppm)
1	104	18.7
2	104	17.4
3	96	18.0
平均	101	18.0
R	8	1.3

上記以外の試料の分析に関してもお気軽にご相談下さい。



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2013 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。